

令和6年度自治会長会議の概要

日 程	場 所	出 席 状 況	出 席 率
5月22日（水） 午後6時30分～ 午後8時05分	文化の杜交流館コモッセ 講堂	自治会長188人中 125人出席	66.5%

令和6年度 自治会長会議

市側出席者

市長、副市長、教育長、総務部長、市民部長、健康福祉部長、保健医療専門官、産業部長、建設部長、教育部長、消防長、広域行政組合事務局長、生活環境課員5人、集落支援員2人

自治会長 188 自治会中 125 自治会 出席率 66.5%

(八幡平 20 自治会、尾去沢 11 自治会、十和田 44 自治会、花輪 50 自治会)

(R5年度 188 自治会中 122 自治会 出席率 64.9%)

<質疑・意見交換の概要>

1. 自治会長会議連絡事項について

[総務部]

3月28日付自治会長様宛の、6年度の「広報かづの」の配布のお願い文書に誤りがあったため、この場をお借りし訂正と謝罪をしたい。

12月広報の配布日を12月26日(木)と記載しており、金土日祝日を除く発行日の2日前との表現と整合がとれない表記としていた。年末の12月29日から31日は市の休日を定める条例において原則業務を行わないと定めており、正しくは年末の休日を除く旨、明記すべきところ誤った標記をしまいこの場をお借りしてお詫び申し上げます。本当に申し訳ありませんでした。

Q. 自治会長

毎月の広報の配布について、箱が壊れそうなほど量が多いが、毎回資料等の配布が必要なのか。資料の配布は2、3か月ごとでいいのではないか。

A. 市民部長

毎回要望がある事項で、庁内でも広報に載せるなど出来るだけ減らすようにはしているが、さらに工夫して負担がかからないようにしていきたい。

Q. 自治会長

総会を開催した際、自治会に外国人が入ってきたことが分かったが、どう対応したらいいのか分からなかった。対応について相談できる市の相談窓口をおしえてほしい。

A. 総務部長

年々外国人が増えてきている状況は把握している。外国人については、国際交流協会を通じて取組みをしていることもある。国際交流協会の窓口は政策企画課となり、対応について相談することもできる。事案があったらご相談いただきたい。

Q. 自治会長

①災害が起きた時、例えば令和4年8月13日未明の豪雨の時、避難所は開設されたが、避難所についての相談は誰にすればいいのか。総務部長でいいのか。

②第1避難所は市民センターとなっているが、避難所より低い位置にある集落など高い位置の市民センターに避難できない状況だった。もっと別の避難場所を考えてほしい。

③一旦自治会館などに集まって、次に安全な場所へ移動させることを考えたとき、次の移動先として小中学校を避難場所に出来ないのか。

A. 総務部長

①市では第1・第2避難所とあらかじめ避難所を指定しており、万が一災害が起きた際は、防災メールやラジオを通じて避難するよう誘導をお願いしている。ただ実際の対応として、避難所まで行けない困難な場合など、一旦自治会館に集ってもらい移動してもらおうなど、状況によって判断していただくこととなる。自治会で訓練等により集まり方等も決めていただければと思う。そのような周知や取組をしていきたいと思う。

②他の自治会でも例があることは承知している。第1避難所に行くことができればいいが、大雨や地震等で状況が変わったりするため、ケースバイケースで、自治会内でこの場合はどうするということのように話し合いをしていただくのが確実なことだと思う。

③学校については第2避難所となっているが、状況により臨機応変に対応していきたいと思う。学校については、鍵を持っている方に連絡し、開けていただき対応することとなる。

[市民部]

Q. 自治会長

事前質問について、前会長の時から要望を出しお願いしていた件となる。学校への市道にかかる木の伐採について、熊が出没し、散歩する人も熊の姿を見るなど危ないと思い、質問をあげた。個人の所有ということで市からは対応を断られ、所有者についても個人情報ということで教えてもらえず、自治会として対応を悩んでいる。土地の所有者についてある程度見当はしているが、伐採のお願いをするまでには至っていない。

A. 市民部長

その該当する土地で地籍調査が済んでいれば、財政課の管財地籍班に図面があるので所有者が確認できることになっている。普段から閲覧できることになっているので、確認することはできる。

[健康福祉部]

民生委員・児童委員について、資料への記載が間に合わなかった事項についてお願いさせていただきたい。今日現在、116人の定員中13人の区域（自治会数では17）で民生委員が不在となっており、民生委員が置かれていない自治会にあつては7月に予定して

いるひきこもりに関するアンケート調査を自治会長の皆様に依頼するのでご協力をお願いする。あわせて先日の民生委員協議会において、自治会の皆様ともっと連携して取り組むことができればという意見があったことから、推薦時だけでなく、民生委員の活動に対しても、連携・ご支援をお願いする。一部の自治会では、役員会に民生委員を加えているところもあるようだ。地域の福祉課題の解決に自治会の力が必要な場合が多々あると思うので、よろしくお願いしたい。

質疑なし

[産業部]

Q. 自治会長

①森林経営管理制度について、森林経営ができない高齢者や未相続の森林が多く、所有者が不明なものが多くなってきている。市への無償譲渡ができないか伺う。

②緑の募金のほか、さまざまな募金の集金が大変になってきている。多くの自治会は、自治会の会費の中から払っているのがほとんどだと思う。自治会の負担になっている。今後改正の意向がないかどうか伺う。

A. 産業部長

①市では無償譲渡は受けていない。経営が難しい方には今後どのようにしていきたいのか意向調査や現地調査を早めにし、意欲ある経営者に委託するなど進めていきたいと考えている。

②募金については、自治会の皆様にご迷惑をおかけしている。この場ではどうするとはすぐに答えられないが、出来るだけ負担にならないようにしたいと思うが、自然環境の保全ということもあるため、お願いできればと思う。

[建設部]

Q. 自治会長

①浄化槽の汲取り費用が隣の大館市や他の市と比べて非常に高いような気がするが、汲取料の資料はあるか。

②浄化槽検査が衛生組合と県とであり、費用も掛かっている。検査内容は違うのか。

A. 広域行政組合事務局長

①鹿角市の汲取り費用は全県でも最低レベルの費用であり、衛生協業組合さんのほうでチラシを配布しているが、10月から全県平均位まで上げさせていただくというもの。どうして高く感じるのかというと、平均値としてある程度のまとまった量であればコスト的には負担が少なくてすむ。わかりやすく言うと、180リットル内であれば定額料金（基本料金）ですむが、それを超えた量で収集となっているため高く感じているものと思う。

鹿角市は平均で約1万何千円となっているが、隣の大館市や能代市は鹿角市よりも高く、北秋田市は鹿角市よりも低い数字となっている。燃料費の高騰や人件費の高騰・確保ということで、10年ぶりに衛生協業組合さんから値上げをしたいとなったもの。これについては、私どももお願いをしながら、また相談に乗りながら今後ともやっていきたいと思う。

②県の検査は年1回である。ある一定の基準があるため、定期的に検査を毎年受けていただくこととなる。検査内容については、重複する部分もあるかと思うが、県の検査は法律で定められているものであり、衛生協業組合さんでやるのは近隣の方に迷惑をかけない管理状態にするためのものとなる。別々に実施されているが、全くバラバラのものではなく、県の検査で引っかかった時は、衛生協業組合さんからご対応いただき、検査を受けるなど、連携のあるものとなっている。

[教育委員会]

(教育長より)自治会の方から学校への避難について話があったが、今、水害等の対策として、学校の避難訓練でも垂直避難ということで、川のそばにある学校だと逃げるよりも上に上がったほうがいいということで、地域の方々からも学校へ避難していただくことも行われていますが、問題は夜間や休日で学校が閉まっているときどうするのか。ガラスを破って避難し助かったという例もあったが、どうやって学校に入るのか。管理上の問題や、かえって事故につながる場合もあったと、総合的な判断が求められると思う。総務部と連携を図りながら、どういう対応が地域の皆さんの命を守っていけるのか検討させていただきたいと思う。

質疑なし

[消防本部]

救急出動について、出動件数は1,422件、搬送人数は1,246人。1日平均にすると39件の出動割合となっている。前年に比べると出動が169件の増、搬送が125人の増となっており、約22人に1人が搬送されていることになる。事故種別では急病が955件で全体の約67%を占め、次いで一般が241件で約17%。交通事故が57件で約4%となっており、その他労災等となっている。

質疑なし

2. 意見交換

Q. 自治会長

都市計画の道路見直しについての説明会での道路廃止について伺いたい。ほとんどの路線が廃止ということではがっかりしたが、廃止の理由が人口が少なくなったということであった。道路は人口減少ではなく、車の量だと思う。廃止予定の路線ではあるが、当自治会でも利用している路線の1つは、普段の車のほか、冬は雪捨て用の車も多く通る。道幅は狭く危険な場所だと考えるが、一部でもいいので直していかなければならないと考えてもらいたいと思う。

A. 建設部長

都市計画道路の見直しについては、全国的な課題として対応しており、現在、都市計画道路の見直し作業を行っているところである。お話しにあった路線については廃止の方向で進んでいる状況だが、交差点等の危険箇所は認識しており、また、冬の雪捨て場にいく車両等もあるため、都市計画道路ではないが、できる範囲で、危険箇所の解消を検討していきたいと思う。

○市長より

今日はいろいろご意見をいただきました。

全国的に鹿角市が有名になっており、十和田高原での熊による人身事故においては、2名の警察官が熊に襲われるなど、今までに熊の習性上あまりなかったようなことが起きたということでもあります。2名の警察官におかれましては、ケガを負われたということで、警察官の方にも申し訳なかったなと思っております。また、サポートするたびに猟友会の皆さん、消防団の皆さん、各県庁の皆さんや森林管理者さん等大変多くの方が朝早くからご出動され、遭難者の救助、また、熊の対策をしていただいている。

私も19日に現場の方へ行行って驚いたのですが、発荷峠から紫明亭までの樹海ラインを警察官が封鎖しているにも関わらず、山菜取りの人達がすり抜けて山に入ろうとする様子が見られ、大変危険だということが示されております。

今回佐竹知事からも4県に対し、山菜採り等のために秋田県に来ないように要請いただいている。

熊対策については、関係機関の皆様による対策のほか、皆さまからもご協力をいただきながら、注意喚起と目撃情報の提供をいただき、早目早目に対策を講じていかなければならないと思っております。

令和4年度の駆除頭数は74頭、令和5年度は175頭と100頭も多く、小坂町と合わせると約200頭を駆除するという、各地域の皆様からの協力で駆除しておりますが、なかなか収まらない状況です。引き続き、市長として市民の皆さんの安心安全を守るため全力をもって取り組んでいきたい。

また、誘因木の伐採については、申し込みが多くありましたが、これは5千万円の寄付をしていただいた鹿角市民の方からの善意によって、市民の安全を守るために充てているものであります。寄付をされた方への感謝をしながら、基金についても有効に使っていきたいと思っております。

今回の熊対策では、関係機関の皆様からは朝早くから対応いただき、改めて感謝を申し上げます。

今日はいろいろな回答の形でお話をしておりますが、一つ大事な点は、先ほど出ました令和4年の災害の話において、市民がたらい回しにされてはだめだということで、総務部が中心となり対応課について広報を出しております。今日の資料についても、市民がどの課へ行って質問をすればいいのか出来るだけ分かりやすく書いております。自治会長の皆様につきましては、自治会の要望を市役所にお伝えする重要な部分もありますので、この資料をぜひ使っていただいて、自治会活動を推進するように私共も一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。

また、全体的なお話をしたいときは、市長室はいつでも開けておりますので、お出でいただければお話をいたしますし、出向いてもまいりますのでよろしくお願いいたします。

本日は、ありがとうございました。

[閉会]